第45巻11号2022年3月1日発行（毎月1日発行）

ONE BOOK ONE LIFE 2022 3月号

ヘレン・ケラーの灯火
Nippon Lighthouse

掲示板

ボランティア交流会の開催を延期

今年度のボランティア交流会は３月10日、玉水記念館で開催する予定でしたが、コロナの感染状況から延期を決めました。今回は14人のボランティアの方々に20年･30年の感謝状をお贈りする予定でしたので、残念でなりません。日程の再決定はなかなか困難ですが、出来れば、３月中旬から下旬に「ボランティア世話人会」を開いて日程と内容を決め、改めてお伝えしたいと思います。不明瞭で申し訳ありませんが、開催をお待ちいただき、ぜひご参加ください。

「赤信号」点灯中のご来館について

当館では、大阪モデルの「赤信号」点灯に伴い、１月26日から４階会議室の貸出と講習会等の会場開催、対面リーディングの休止を決定しました。再開は「黄信号」に変わった後、決定した上で、お伝えします。当館へのご来館については、以下の通り、お願いいたします。

＊来館でのボランティア活動については、各係にご確認ください。

＊５階エンジョイ!グッズサロンへの来室は必ず事前予約をお願いします。

「サピエ」が3月7日から28日まで全面停止

当館の図書製作・利用者サービスに欠くことのできない「サピエ」がシステムの全面更新のため、３月７日(月)から28日(月)まで、全面的に停止します。停止期間中は個人会員の利用ができなくなるのに加え、施設や団体でも図書検索やデータのダウンロード等が行えなくなります。当館の貸出は在庫のある図書のみとなり、他館との相互貸借もできません。録音や点字の雑誌は代替手段を使い、利用者への貸出を続けます。ボランティアの方にもご迷惑をかけることがあるかと思いますが、ご了承ください。

３月の休館・休室について

３月10日(第２木曜)＝エンジョイ！グッズサロンと図書貸出は書庫･在庫整理日のため休室。

３月25日(金)・26日(土)＝図書･情報係はサピエ再開準備のため休室。

３月31日(木)＝エンジョイ!グッズサロンは年度末の棚卸しのため休室。

拡大掲示板 新年度の「点訳講習会」と「専門講習会」の予定等を3頁に掲載。ご覧ください。

一ツ橋綜合財団のご助成で、今年度も先駆的事業に成果
アクセシブルな電子書籍やシネマ・デイジーの普及を目指して

当館では、毎年、公益財団法人一ツ橋綜合財団から多額のご助成を賜っています。今年度も、この助成金とボランティアの皆様のご協力により、当館が全国を先導するアクセシブルな電子書籍や「シネマ・デイジー」の製作・提供、オンライン会議システムZoomを活用した講習会・講演会などを実施することができました。今年度の主な実績をご報告します。(製作部長　久保田 文)

アクセシブルなデジタル教科書を製作・提供

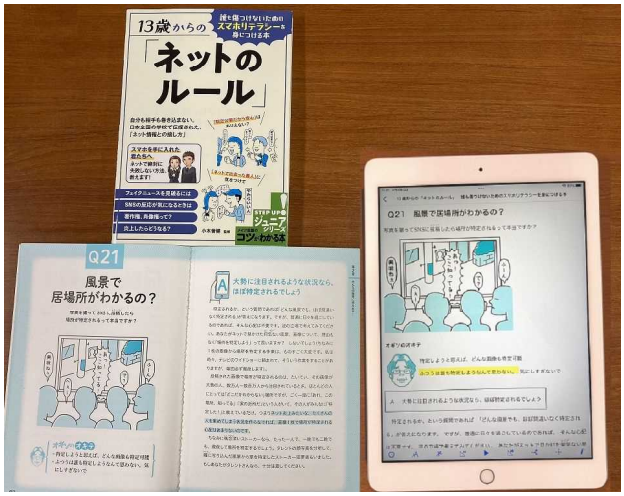
当館がマルチメディアデイジー(以下、MMD)教科書の製作・提供を始めて13年になります。この間、学校教育法の一部改正や電子書籍のメジャー規格EPUB(イーパブ)のアクセシビリティ化が進み、小・中学校の教科書については、国に委託されたデータ管理機関からEPUB形式のデータが提供されるようになりました。

この流れを受け、当館でも今年度からMMD教科書に代わり、EPUB MediaOverlays(メディアオーバーレイ)(MMDとほぼ同じ仕様のEPUBで文字と音声が同期している)形式のデジタル教科書の製作・提供を始めました。本来ならば、データ管理機関から提供されている教科書のEPUBデータに音声を付与するだけでデジタル教科書が出来上がるはずなのですが、残念ながら、データ管理機関からのデータはレイアウトや1ページ当たりの情報量の配慮が不十分で、読み書きが困難な子どもたちが見やすく、分かりやすくするための、追加の編集作業が必要です。時間はかかりますが、今後も培ってきたスキルを活かし、アクセシブルなデジタル教科書を製作・提供していきます。

時代に沿った就学・就労支援のために

就学児から大学生までを対象としたMMD図書は、新型コロナウイルスの感染、SNS上でのいじめや犯罪トラブルなど、現代の子どもたちが直面している問題に対し、正しく知ってほしい知識の本を中心に選定し、約10人のボランティアの方々のご協力の下、製作いたしました。

当館のMMD図書は、肉声と合成音声を併用して製作しています。絵本・読み物などは肉声のみで製作しますが、図書の性質(内容)、対象年齢、図表等の視覚的資料の役割などを考慮した上で、ハウツー本や就労支援の本の一部は、視覚的資料は肉声で音訳し、本文は合成音声を使用するという方法で製作しています。AI技術を活用した合理的な製作方法ですが、機械に任せても良い部分と、人間による音訳でなければならない部分の見極めを誤ることなく、これからも当館ならではの質の高い図書の製作を続けていきたいと思います。



MMD化した「13歳からの『ネットのルール』」

「シネマ・デイジー」とバリアフリー上映体験会

コロナ禍により、来館でのボランティア活動を制限せざるを得ない中、約20人のボランティアの皆さんとともに、13作品の耳で観る映画シネマ・デイジーを製作。「サピエ図書館」を通して全国に配信するとともに、デイジーCD図書として貸し出すことができました。

また、バリアフリー上映体験会を、当館の「わろう座」で２回、神戸アイセンターで１回(NEXT VISION主催)開催し、徹底した感染対策のもと、合計約120人の方に映画を楽しんでいただきました。

オンラインで広がる「学び」と「繋がり」

コロナ禍に伴い導入したオンライン会議システムZoomをフル活用し、各種講習会や定例勉強会を続けることができました。また、昨年12月には当館のボランティアの方々を対象にした特別講演会「今こそ話そう!読書バリアフリー法とボランティア活動」を、会場参加とオンラインの２方法で開催し、約70人の方にご参加いただき、ご好評をいただきました。

さらに、今月下旬には、当館発行の児童向け点字雑誌『アミ・ドゥ・ブライユ』の読者交流会を全国に向けてオンライン開催する予定です。

オンライン公開された特別講演会の会場風景

拡大掲示板

初心者対象の点訳ボランティア講習会を開講

当館では、新しく点訳活動に加わってくださる方を養成するための「点訳ボランティア養成講習会」を５月から開講します。事前知識は不要です。点字に興味のある方、点訳ボランティアに関心のある方はぜひお申し込みください。

なお、新年度の「音訳ボランティア養成講習会」は既に定員に達しました。ご容赦ください。ご希望の方には６月開講の早川福祉会館点字図書室の講習会をご紹介します。

◆点訳ボランティア養成講習会（初級）

日時　５月19日～７月28日(毎週木曜日)午前10時～12時(試験後、中級を９月１日～12月15日に開催)

申込締切　４月15日(金)、定員10人

説明会と事前試験　４月21日(木)10時～

お申込みは、実施要項をご請求の上、点字製作係(電話06-6441-1028)までどうぞ。

第35回専門点訳・音訳講習会を続々開催

毎日新聞大阪社会事業団と当館では、今年度も多彩なテーマの専門点訳・音訳講習会を下記の通り開催します。所属団体は問いませんので、ぜひ奮ってご参加ください。

◆専門点訳講習会

①英語点訳(UEB)コース＝2019年に国際標準となったUEB(統一英語点字)を講習。６月～８月、全６回(１回２時間)、定員15人。

②写真・図・イラスト点訳コース＝今日重要性を増す視覚的情報を点訳するための実践講習。７月、全２回(１回４時間)、定員15人。

③教科書・教材点訳入門コース＝地域の小・中学校等に通う生徒の学習に欠かせない教科書、教材等の点訳の基礎を講習。８月、全２回(１回４時間)、定員15人。

◆専門音訳講習会

①東洋医学コース＝視覚障害者の就労・学習にニーズの高い東洋医学書の音訳を講習。全６回(１回２時間)、定員15人。

②古典コース＝日本の古典を音訳するための基礎知識を講習。全６回(１回２時間)、定員15人。

③小説の読み方コース＝音訳図書の利用で、最も人気の高い小説の読み方の基本を講習。全１回(４時間)を２コース開催。定員各12人。

点字考案200周年記念事業がオンライン公開

ルイ・ブライユが1825年に点字を考案してからまもなく200年。これを記念するプレイベント「第１回点字考案200年記念講演会＆シンポジウム」が３月19日(土)13時～16時、大阪と東京の２会場で開かれ、YouTubeで公開されます。講演「韓国点字法に学ぶ～立法経過とその後の状況」(シロアム視覚障害者福祉館常務理事チェ・ドンイク氏)と、シンポジウム「これからの点字への期待～新たな輝きを求めて」(日本点字図書館館長長岡英司(ひでじ)氏、四天王寺大学名誉教授愼英弘(しんよんほん)氏、大阪府立高校教諭山本宗平(そうへい)氏他)。視聴自由。YouTubeの視聴用アドレスはhttps://youtu.be/a-PmJcQj7Rk です。

映画体験を共有する面白さ＝映画の「環」の広がりを願って

録音製作係　宇田 佑香

前頁の「一ツ橋綜合財団」の報告に記した通り、「音声解説」は、当館の主要事業の一つです。昨年10月からその担当となった宇田職員に、映画に対する熱い思いを書いてもらいました。（竹下）

「スタンド・バイ・ミー」に魅せられて

私が映画鑑賞を始めたのは高校３年生の２月でした。大学受験を終えて暇を持て余していた私は、何となく近所のレンタルビデオショップに入りました。「青春映画の金字塔!」と手書きの可愛らしいポップに目が留まり、そのポップに勧められるがまま、映画「スタンド・バイ・ミー」(ロブ・ライナー監督)の DVD を借りました。

家に持ち帰って見るや否や、妙な感覚に捉われました。どこか懐かしいような、昔の夢を見ているかのような。アメリカ人でもなければ少年だった経験もないのに、アメリカの田舎町でわんぱく少年時代を過ごしたことがあるかのような錯覚に陥ったのです。

この日から、暇さえあればレンタルショップで映画の DVD を物色する日々が始まりました。１日に３本観る日もしばしば。日本史を学ぶつもりで受験した大学も、映像学を専攻することに。こうして、私の映画人生は幕を開けました。

北京では「映画」でコミュニケーション

とは言いつつも、大学の４年間ずっと映画について学んでいたわけではありません。第二外国語で履修した中国語にハマり、２年生の夏休みに北京へ短期留学。霞んだ空気、広大な土地、豪華絢爛な装飾…。出会うもの全てに魅了された私は、アルバイト代をつぎ込み、翌年２月から約半年間、再び北京へ留学しました。

現地の人とのコミュニケーションの架け橋になってくれたのは「映画」でした。「チャウ・シンチーの映画、面白いよね」と言うと、「中国人はみんな好きだよ！」「日本でも人気なの？」との声が。「『少林サッカー』はスポーツ映画？それともカンフー映画？」「『カンフー・ハッスル』のダンスシーン面白いよね！」と、チャウ・シンチーの話題で盛り上がりました。

他にも、日本の映画通の間で定評のあるハリウッド映画「ショーシャンクの空に」(フランク・ダラボン監督)は、中国でも「あれは良い映画だ！」と複数の声が上がり、中国人とアメリカ映画で意気投合。ちなみに日本映画では、「海街 diary 」(是枝裕和監督)が結構人気でした(私調べ)。

こうして私は「映画」を話題にコミュニケーションを図るという技を覚え、中国語も自然と上達していきました。

この留学は、映画の底知れぬ力と可能性を知るきっかけともなりました。たとえ言語の壁があったとしても、お互いに同じ映画体験を共有していることがわかれば、距離がグッと縮まるのです。そして、この「映画体験を共有する」面白さ＝映画の「環」を広げたいという想いが、このときぼんやりと芽生えたのです。

広がれ！映画の「環」

現在、ご縁があって、当館の録音製作係職員となり、“耳で観る”映画「シネマ・デイジー」の製作やバリアフリー上映会の運営に携わらせてもらっています。ご承知の方も多いでしょうが、大きく言うと、今までふつうに映画を観ることが困難だった方々に、映画体験の場を提供するというお仕事です。

まだまだ勉強中で、ボランティアの皆さんの巧みな言葉選びに唸るばかりです。上映会では、映像と音声の同期がうまくいくかどうか緊張しっぱなしです。

ある日、利用者の方から「あなたの仕事が私の希望です」と、メールをいただきました。こんなにも心の暖まることはありません。始業前にたまに読み返して、「よし！頑張ろう」と自分にエンジンをかけています。

映画の「環」がもっともっと広がりますように。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2022年1月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点 字 製 作 ♣

1月分完成点字図書

10タイトル30冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

ウンコはどこから来て、
どこへ行くのか
(湯澤規子) 3冊
点:春江由美子
校:大安徹雄　宗像真李子

オオサカ、大逆転!
(結城豊弘) 3冊
点:大安徹雄
校:春江由美子　宗像真李子

鬼滅の刃18(吾峠呼世晴) 1冊
点:南 佳奈
校:栗栖 忍

競馬にみる日本文化
(石川肇) 3冊
点:藤田比呂子
校:西田恵美子　福元悦子

こころを磨くSOJIの習慣
(松本紹圭) 2冊
点:中川春美
校:山下慧子　平野 健

子規紀行文集(正岡子規) 5冊
点:井上重子
校:高橋淳子　岡田允子

成城石井 世界の果てまで、
買い付けに。
(上阪徹) 3冊
点:福田真弓
校:池田園子　八木光子

ネットの高校、日本一になる。
(崎谷実穂) 3冊
点:絹川和子
校:宗像真李子　髙木智佳子
平野 健

放送室はタイムマシンにならない
(吉川結衣) 2冊
点:山下慧子
校:中川春美　宗像真李子

保津川(西野喬) 5冊
点:西山和子
校:細見康子　岡田允子

学校教材

2タイトル27冊

改訂版 新・高校の数学Ⅰ　10冊
点:浦田登志子
校:足立幸子　澤田祐子

未来へひろがる数学1年　17冊
点:浦田登志子　山本普実雄
大阪YWCA点字子ども図書室
校:足立幸子　古財芳子
澤田祐子

♠ 録 音 製 作 ♠

1月分完成録音図書

13タイトル(書名、著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

あしたの南極学(神沼克伊) 9:36
音:郡 薫
校:辻野玲子　松井喜美代
編:小林万智子

勝つために9割捨てる仕事術
(村上和彦) 5:13
音:清水純子
校:寺田美枝子　本村英子
編:土井賀津子

教科書御用達小説の主人公は
クズでヘタレばかり
(佐藤功) 10:58
音:宮 清子
校:岡村佳子　渡辺一枝
編:植田美穂子

教科書には載っていない!
戦国時代の大誤解
(熊谷充晃) 6:45
音:小林万智子
校:松浦洋子　松井喜美代
編:柳本絹子

古典から学ぶ経絡の流れ
(浅川要) 12:55
音:夛田禮子　片岡珠子
校:金井典子　久保洋子

古典文学の常識を疑う
(松田浩 他) 20:08
音:片岡珠子　桂 公子
北川温子　杼村明子
濵 欣子　宮 清子
吉田典子
校:山中眞理子　田宮恭子
高梨智子　三上 菊
編:佐藤保子　吉田典子

新型コロナ時代のランニング
(金哲彦) 4:14
音:前田元子
校:久保洋子　松井喜美代
編:羽淵雅子

しんどいオカマのちょっと一杯
いかがかしら?
(BSディム) 8:02
音:奥 幸子
校:大西祥子 土井賀津子
編:辻野玲子

世界中の億万長者がたどりつく
「心」の授業
(N Barden 他) 5:54
音:藤岡郁子
校:大西祥子　寺田美枝子
編:濵 欣子

せやろがい!ではおさまらない
(せやろがいおじさん) 3:41
音:髙田雅子
校:金井典子　八田芙未子
編:植田美穂子

戦国経済の作法
（小和田哲男監修） 6:57
音:桂 公子
校:土井賀津子　松井喜美代
編:山崎千代子
そわそわしない練習
（植西聰） 3:30
音:鬼頭順子
校:三原佳子　阪越紀子
編:本村英子
たそがれ御堂筋(吉村喜彦) 5:11
音:倉富重雄
校:宮 清子　松井喜美代
編:岩崎千佐子

♥ プライベート製作 ♥

点字図書
「金平糖」第157回 短歌サロン 1冊
点:待田敏彦
校:若林安也子
平面図形 点図作成　1冊
点:篠田弓枝

録音図書
酒とビデオの日々　9:15
音・編:三原太郎
スーパー編集長のシステム小説術
（校条剛） 9:42
音・編:川添美智子

◆ 定 期 刊 行 物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2022年2月号
発送:木下正義　中島小夜子
中島千恵　西垣泰子　山田一弘

『読書』2022年2月号
デイジー版　1:13
音:寺下千秋　校:下山とよみ
発送:板波キミ　並木昌子

『アミ・ドゥ・ブライユ』第39号
点字版　1冊
点・校:梶原由美子　栗栖 忍
鴻上真理　南 佳奈
山根真紀子

『JRニュース』2022年2月号
点字版　3冊
点・校:金曜日グループ

『お役立ち目録～大人を休もう』
2022年2月号
デイジー版　0:12
音:寺下千秋
校:下山とよみ

『子供の科学』2021年12月号
デイジー版　3:10
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子 岸田素子 澤田美那子
夛田禮子　田中英子　土井明美
宮 清子　吉田 薫

『サイエンスかわら版』2021年12月号
デイジー版　4:11
音・校・編:情報文化センター
「理数チーム」
阪本美紀　寺田美枝子　橋本万里
畑 豊弥　濵 欣子　浜本裕子
本村英子

『日経パソコン』
2022年1月号　デイジー版　3:40
音・校・編:情報文化センター
石井那智子　小倉玲子　桂 公子
金井典子　川端真知子　北川温子
木村純子　小林幸子　小林万智子
小森佳津子 坂口幸子 阪本由美子
佐藤圭子　佐山敦子　下山とよみ
寺下千秋　寺田美枝子　西村郁子
二宮真理　橋本万里　浜本裕子
平田惠美子　福島博子　前田元子
三上 菊　溝渕久美子　目連雅子

『英語よもやま通信』2022年2月号
デイジー版　2:16
音・校・編:情報文化センター
「英語チーム」
岡﨑節子　川端真知子　川辺洋子
小林幸子　中島美穂　中原尚子
西和田惠子　前田元子　的場操代
山崎千代子　脇本登志子

『週刊新潮』デイジー版
◆2022年1月13日迎春増大号
11:20
井尻府三重 稲田至功子 上原多美子
大島幸枝　岡﨑節子　加藤和夫
上村裕子　北元直子　坂口幸子
阪本美紀　坂本雪枝　阪本由美子
佐藤公平　鈴木恵子　武市敦子
土井静栄　永井憲子　野村純子
濵 洋一　兵頭賢一　増田典子
向髙寿子 八十嶋敦子 山本スズ子
山本晴代 湯浅里美 和布浦眞里子
編:西村道子

◆2022年1月20日号　10:33
荒木節子　岩谷友子　越智真弓子
北村優美子　帰村千恵　澤田和代
清水百世　髙久俊子　寺西竹子
中村洋子　成田次雄　成田由起
西村道子　西山トシ子　直場徳宥
橋本明子　橋本佳子　服部秀美
星子鐵郎　前田元子　松原和子
山下 豊　山田栄利子　和田文子
編:古跡眞知子

◆2022年1月27日号　10:24
有川美津子 大久保美弥 大島幸枝
大塚しづ子　岡﨑節子　岡田栄子
上村裕子　神谷勉子　川添美智子
川端砂代子 川本くるみ 久下悦子
久保諄洸　小池雅子　國分清子
坂本雪枝　佐藤公平　澤井 稔
地福延代　嶋津美香　白井律子
鈴木栄二　髙田雅子　髙橋孝子
武市敦子　田宮加代　地上博子

坪田捷子 冨田久美子 西岡千代子
西田千波　西村早斗子　橋村惠子
濵 欣子　兵頭賢一　平田惠美子
前田元子　松浦洋子　和田ゆう子
和布浦眞里子
編:デイジー大阪

◆新潮音訳協力グループ
八幡市民図書館朗読ボランティア
　サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
　「草笛会」
グループN-BUN
デイジー大阪

✯ 電子書籍 ✯

◆プライベート製作
公認心理師試験対策 2021年版
　過去問 4 回分+実力養成用
　科目別練習問題
　浦浜容子 越智真弓子 木原富子
　佐藤久子　千徳節子　新田 優
　平林隆雄
教育の美しい危うさ
　足立佐紀子　池尻三千子
　永薮直子　西村佐世子

◆テキストDAISY図書
幸せな人生のつくり方 今だから
　できることを
　テキスト化:森 美恵子
　　加藤珠子
　DAISY編集:森 美恵子
　DAISY校正:森田敏子

◆マルチメディアDAISY図書
13歳からの「ネットのルール」
　テキスト化:森田敏子　吉田典子
　音(TTS):吉田典子
　DAISY校正:足立佐紀子

❣ 対面リーディング ❣

秋本直美　上ノ山禎子　桂 公子
田伏惠子 中本由美 和布浦眞里子
1月　利用者6人･9件

『対面リーディング通信』編集
伊東晴子　木村謹治　澤井 稔
細井昌子

❦ 館内お手伝い ❦

図書･情報サービス
板波キミ　板谷照美　上田敬子
海上映一　片岡忠克　木村謹治
帰村千恵　小寺高子　武部はつ子
田間泰子　塚本紀子　逸見恵子
深見真理　宮嶋昌代　森本益子
渡邊洋子
［茨木市バラの会］
永崎利恵

◆1月の貸出実績
点字　120tl　DAISY 2759tl
テープ　2tl
★1月の人気貸出図書★
（当館製作図書。順不同。）
【点字図書】
鬼滅の刃 16(吾峠呼世晴)
言霊と日本語(今野真二)
熊楠と幽霊(志村真幸)
ぱんぱかパン図鑑(金子健一)
【録音図書】
SCIS科学犯罪捜査班 2
　(中村啓)
夜盗狩り 助立屋始末
　(沖田正午)
企業として見た戦国大名
　(真山知幸)
ちょっと心配な健康診断の
数値がすぐにわかる本
　(和田高士)

整理・情報サービス
板波キミ　板谷照美　鱗星千恵子
岡田満千代

電子書籍
池尻三千子　西村佐世子

✎ 音 声 解 説 ✍
（ボイスぷらす）

◆シネマ･デイジー
「トランボ ハリウッドに最も
　嫌われた男」
　ナレーション:古澤滿壽枝
　台本制作･編集:平林育子
　　古澤滿壽枝
　台本校正:藤井倫子

✉ パソコンサポート ✉
（ボイスネット）

【1月実績】
週報:高田佳直
HP更新:中条正信

❋ ご 寄 附 ❋

市川 顯　佐藤清志　中津毬子
福田真也　湯川欣晃　匿名1件
（敬称略をご容赦下さい）

《一ツ橋綜合財団助成事業》
アクセシブルな電子書籍、シネマ・デイジー等、当館の先端的なメディアは公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成により製作されています。

2021年度点訳ボランティア養成講習会終了

昨年６月に開講した「点訳ボランティア養成講習会・中級コース」が１月25日に終了し、６人の方が修了されました。これから、それぞれ活動曜日を決めて点訳活動を開始され、コロナ感染が落ち着けば来館して、ペア校正等をしていただきます。今後のご活躍を期待します。

修了者の皆様(敬称略)。前列左から安達恵美子、市川道子、越川由美子、前田朱実、松山千英、本岡直樹。後列左から講師の土橋貞子、鴻上真理。職員の奥野真里、久保田文。

音訳ボランティア野村昭子さんの追悼文集が出版

当館の音訳ボランティア野村昭子さんが録音作業の後、肥後橋駅で不慮の事故により亡くなられてから２年が経ちました。その追悼文集「おはなしを届けに～野村昭子さんの思い出」がこのほど上梓され、ご主人の野村俊三様から当館に10冊のご寄贈を受けました。野村昭子さんは明石市で４人のお子さんを育てながら公務員を定年まで勤めた後、2003年から地域の図書館や公民館、保育所などで「読み聞かせ」活動を始め、2008年からは当館の音訳講習を受講して録音ボランティア活動も開始。その温かい人柄と“読み”の力で数え切れない子ども達や保護者、職員、ボランティアの仲間から慕われました。追悼文集には、そうした50人余りの方々の思い出と惜別の言葉が寄せられ、野村さんの生前のお姿が生き生きと浮かび上がってきます。６階録音製作係に置いていますので、ぜひお読みください。(写真は、地域の小学校でストーリーテリングをする野村さんです。)

ボランティア友の会世話人会報告

2月15日(火)13:00～13:30(臨時開催)

出席者:植田、大安、奥、笠松、木虎、田中、館から竹下、谷口、徳嶋

<協議事項>

・2021年度友の会総会・交流会の延期について(本誌掲示板に掲載)

・次年度(2022年度)の世話人について

<次回>　臨時世話人会を3月中旬以降に予定。次年度第1回世話人会　4月14日(木)10:00～11:30

あ ゆ み

【２月】

15日 ボランティア友の会世話人会(臨時)

予　定

【３月】

７日 サピエ全面停止(～28日)

10日 エンジョイ！グッズサロンと図書貸出休室(書庫・在庫整理日)

12日 オープンデー(館内見学日・要予約)

25日・26日 図書貸出休室(サピエ再開準備)

31日 エンジョイ！グッズサロン休室(年度末棚卸し)

編 集 後 記　先日、気持ちの切り替えができずモヤモヤと考え落ち込んでいたら、「イヤなことは忘れてしまえばいいねんで」と10才の男の子が教えてくれました。彼の言う通りです。思わず笑ったら、モヤモヤが飛んで行ってしまいました。この男の子、なかなか面白い。半年ほど前だったでしょうか、話の流れで「さすがにぼくはもう子どもじゃないからね」と言った時がありました。「子どもじゃなかったらなぁに？」と聞くと、堂々と胸を張ってこう返事をしました。「しょーねん！」(点)

ONE BOOK ONE LIFE（ワン ブック ワン ライフ） 2022年3月号
発　行　社会福祉法人日本ライトハウス
情報文化センター(館長 竹下 亘)
住　所　大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
TEL 06-6441-0015　FAX 06-6441-0095
E-mail info@iccb.jp
表紙絵　武部はつ子
発行日　2022年3月1日
定　価　1部100円　　年間購読料1,000円

公式SNS はじめました　twitter　Instagram　YouTube